

## 祝 英語スピーチで全国大会へ

中学生が自分の思いや考えを英語でスピーチする「高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会」県大会が行われました。片岡中学校2年 大和田 茉央さんが最優秀賞に選ばれ、県代表として10月12、13日に東京都で開催された決勝予選大会に出場しました。

大和田さんは、「新しいことにチャレンジしてみよう」と思い、勇気を出して参加した。表現力を豊かにする工夫が難しかったが、とても良い経験ができた」と話してくれました。



大和田 茉央さん  
(片岡中学校2年)

### 「Little Things」

～小さなことから～

人前で意見を言うことが苦手で悩んでいたところ、担任の先生から「小さなことから始めればいい」と助言されました。ある日の授業で勇気を出して実践してみると、友人は真剣に話を聞いてくれ、自分の考えを話す喜びを知りました。…

## 9/17 (土) 気軽に歩いて健康習慣

市役所から川崎城跡などを巡る「健康ウォーキング」が開催され、秋晴れの下、参加者31人が爽やかな汗を流しました。「矢板市健康づくりみどりの会」主催のこのイベントは、ウォーキングの習慣化や生活習慣病予防の啓発を目的に開催されているものです。約5kmを完歩した参加者は、中嶋会長や荒井保健師から健康長寿の秘訣などの講話を受け、日頃から健康づくりに取り組む大切さを学びました。

参加者は「歴史を感じながら楽しく歩けた。地元である矢板にもまだ知らない場所があるんですね」と話していました。



## 9/18 (日) 秋風をきって名車駆け抜ける

9月16日から4日間にわたり1都8県、約1,200kmを走破するクラシックカーイベント「ラ フェスタ ミッレミア 2022」が開催され、大会3日目のこの日、市内を往年の名車約100台が駆け抜けました。通過証明のスタンプが押印されるチェックポイントの1つに設定された市上下水道事務所前には、さまざまな名車を一目見ようと多くの観客が訪れました。

名車をカメラに納めていた観客は「普段見られないクラシックカーを間近で見られて楽しかった」と話していました。



## 9/27 (火) 地域のさらなる活気を願って

市役所で、寄附贈呈式が行われ、明治安田生命保険相互会社宇都宮支社矢板営業所様から518,500円の目録が手渡されました。この寄附は、コロナ禍の影響を受ける地域社会の支援を目的に、同社が取り組む「地域の元気プロジェクト」の一環である「私の地元応援募金」などを活用したもので、今回で4回目となります。

益田所長は「地元がいつまでも活気あふれる場所であることを願い、今後も一層の支援をさせていただきたい」と話されました。

## 安田生命保険相互会社から矢板市へ 寄附贈呈式



▲(左から) 齋藤市長、明治安田生命保険相互会社宇都宮支社矢板営業所 益田所長  
※私の地元応援募金：従業員が出身地などゆかりのある地域を選ぶ募金に会社が上乗せて寄附を実施するもの